

FDT Group FDT 3.0 標準と開発ツールキットをリリース

FDT Group™（本部ベルギー）は、2020年6月3日にOS（Operation System）に依存しないFDT 3.0標準であるFDT IIoT Server™ (FITS™)を発表しました。また、この発表に合わせてFDT 3.0開発ツールキットをリリースしましたので、ここにお知らせいたします。

記

オートメーション産業界では、IIoT, Smart Factory, Smart Manufacturing が注目され、プロセスオートメーションとファクトリーオートメーションともに生産現場のフィールドのデータを収集、分析して新たな価値を創造するための機運が加速しています。

今回発表したFDT3.0標準では、従来のようにPLC (Programable Logic Controller) やDCS(Distributed Control System)を介することなくエンタープライズシステムから現場機器に対するセキュアなリモートアクセスを提供します。さらにブラウザベースでの現場機器のパラメータ調整や、現場機器のパラメータをエンタープライズシステムが利用するためのOPC UA サーバの構築が可能となります。

FDT Group 日本支部では、FDT 3.0 標準により製造業の生産現場およびオートメーションサプライヤー双方のデジタルトランスフォーメーションを推進してまいります。

FDT Group 日本支部を今後ともよろしくご依頼申し上げます。

以上

コンタクト先: パブリックリレーションズ WG リーダー
亀井 宏和 (所属: アズビル株式会社: h.kamei.pu@azbil.com)

FDT Group について

FDT Group は、主要国際企業で構成されたオープンで独立した非営利法人であり、オートメーション業界において広く受け入れられる国際標準として、FDT 技術を普及させる活動をしています。2003 年、ABB、Endress+Hauser、Invensys、Metso、Siemens により、非公式団体として発足しました。その後、独立法人として正式に設立されることが決定され、2005 年 9 月、ベルギー法に基づき非営利組織(AISBL)として「FDT グループ」が発足しました。2020 年 1 月現在、ファクトリー・オートメーション、プロセス・オートメーション産業から多数の企業/団体/大学が所属しています。

FDT について

FDT は、あらゆるフィールド機器とホストシステム間の通信および設定インターフェースを標準化する技術として誕生しました。FDT は、機器の最も高度な機能にアクセスするための共通環境を提供します。機器メーカー、機種、通信プロトコルいずれも問わず、どんな機器も標準化されたユーザーインターフェースにより、設定、操作、保守を行うことができます。また、来るべき IIoT 時代においては、フィールド機器とホスト間だけでなく、クラウドとの間もアクセス可能となるべく、FDT IIoT サーバ (FITS) を開発しています。

FDT Group 日本支部について

FDT Group 日本支部は 2006 年から活動を行っております。日本支部においては、年に 1~2 回開催するエンドユーザセミナー、エンドユーザとの技術交流会、開発者向け技術セミナー、産業オープンネット展などのその他の各種展示会への参加を中心に、FDT 技術の普及活動を行っております。

FDT 日本支部長：小川 修一（所属：エンドレスハウザージャパン株式会社）

アクティブ企業

アズビル株式会社、ウットウンガテクノロジーズ株式会社、SMC 株式会社、株式会社 NSD、エンドレスハウザージャパン株式会社、オムロン株式会社、CKD 株式会社、シュナイダーエレクトリックシステム株式会社、シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社、ターク・ジャパン株式会社、ドレーゲルジャパン株式会社、株式会社ピーアンドエフ、フェニックスコンタクト株式会社、富士電機株式会社、株式会社マツシマメジャテック、三菱電機株式会社、ネレスジャパン株式会社、横河電機株式会社（五十音順）

コンタクト先: パブリックリレーションズ WG リーダ

亀井 宏和（所属：アズビル株式会社：h.kamei.pu@azbil.com）